

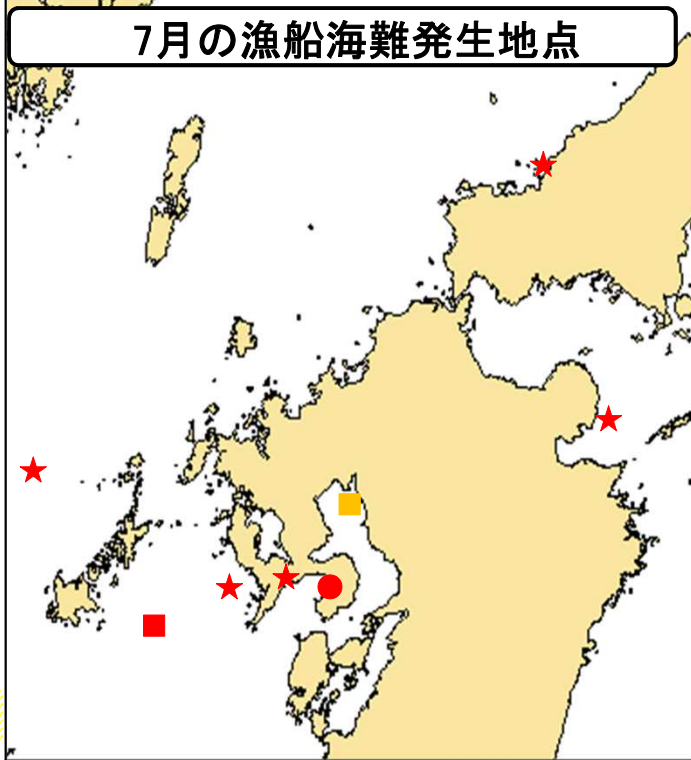
令和3年7月発生
七管内漁船海難 計8隻

令和3年7月累計 63隻 (前年 50隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ 13隻増加

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突 ★	5
火災 ●	1
運航不能 (機関故障) ■	1
運航不能 (推進機障害) □	1
合計 8隻 (昨年 4隻)	
死亡、行方不明者: 4件	

	県別内訳	
	7月	令和3年累計
山口県	1	7 (7)
福岡県	1	9(12)
佐賀県	0	3 (3)
長崎県	5	34 (20)
大分県	1	10 (8)
合計	8隻	63隻 (50隻) ()は昨年同月

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

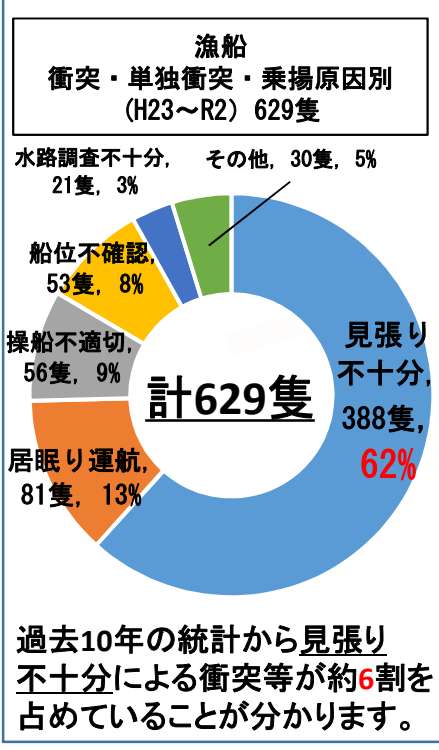


累計死亡・行方不明者数: 13名 (令和3年7月末日現在)

漁船衝突事故件数 2倍！

今年7月までに漁船の衝突事故が昨年比から**2倍**の24件も発生しています。衝突相手は、漁船、プレジャーボートの順で多く、見張りをせずに別の作業をしていて衝突したり、一度確認して、大丈夫と臆断し、継続的な見張りをせずに衝突していたりとしっかりと見張りをしていない傾向が見受けられます。

『この時間ここに船はおらんだろう』、『これだけ離れて走っておけば大丈夫だろう』など思い込みによる油断はせず、適時適切な見張りを行い、周囲の船舶の動静に注意しましょう。



常に見張って安全運航！ 家族があなたの帰りを待っています。